

教育講演会が開催されました

7月18日(土)に、洛和会丸太町病院の上田剛士先生をお招きし、医学生・研修医を対象とした教育講演会を開催しました。今回は「観るだけで分かるショック」というテーマでご講演いただきました。



講演では、身体所見によるショックの鑑別から始まり、mottling、CRTによる臓器障害評価・予後との関連について学びました。また SpO₂波形による輸液反応性の予測についても解説していただきました。上田先生の親しみやすく明快な語り口も印象的で、難しい内容も段階を踏みながら噛み砕いて説明してくださり、理解を深めることができました。

検査結果を待つ前に、患者さんの身体に表れている所見から病態を考え、次の行動につなげることの大切さを実感しました。今回学んだ診察方法を救急外来や病棟で繰り返し実践し、診療に活かせるよう研鑽していきたいと思います。

